

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1993~1994年度クラブ目標 “出会いを大切にしよう……例会で、みんなが、待っている”

第177回 例会報告 (6/15)

司会者 SAA 藤本 吉文

◇点鐘 会長 横倉 舜三

◇ロータリーソング「我等の生業」
ソングリーダー 菊池 敏

◇お客様紹介 会長 横倉 舜三
浦野 豊様 (東京日野RC)

◆ 会務報告 会長 横倉 舜三

1) 台北で開催された1994年国際ロータリー年次大会に当クラブから15名の会員と奥様の一行は12日夜の部の開会式に参加して参りました。大会は12日から15日まで各種の委員会が開催されています。

13日全員無事帰国いたしましたのでご報告します。

2) 8日の理事会に隅耕造会員から一身上の都合で本年度限りで退会したいという申出があり、理事会としてはこれを了承することにいたしました。本年の社会奉仕委員長として大変活躍いただきましたので誠に残念であります、またいつの日か戻られることを希望しています。

◆ 幹事報告 幹事 北村 幸彦

1) 新事務所のご案内

東京田園調布緑ロータリークラブ
〒143 東京都大田区大森中 1-7-10
大森パールメゾン 801号
TEL 03(5493)0617
FAX 03(5493)0618

2) 次年度例会日変更のお知らせ

東京日本橋ロータリークラブ
これは次年度の事ですので、次年度幹事に申し送りしておきます。

3) ロータリー国際大会の報告

12~15日に渡って行われた国際大会は台湾始まって以来の盛大かつ重要な国際大会で、世界188ヶ国からロータリー会員ゲスト約3万人が台北に集まり、日本からは約1万人が参加した。会場の林口スタジアムには全員が収容しきれず昼、夜の2回に分けて行われ、移動のために用意されたバスだけでも300台にのぼったと英字中華日報に報じられておりました。

この大会のため台湾RCでは会員だけでなく政府機関や役員も多数動員し、開会挨拶も第一回は李登輝現大統領が行い、第二回は連戦現首相が行った。また歌手のジュディー・オングも開会式に登場した。

アジアで行われた記念すべき大会に出席できただけでも幸せであったと思う。

委員会報告

◆出席委員会 委員長 遠藤 二郎

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本報告	53	42	3	7	86.54%
前回訂正	53	37	7	8	84.62%

メイクアップ

関岡 俊二 (6/9 杉並)
 " (6/14 中野)
 藤本 吉文 (6/10 武蔵府中)
 鶴海 英三郎 (")
 赤尾 恭雄 (6/12 台北大会)
 村上 久 (")
 奥田 文夫 (")
 小林 和夫 (")

欠席届出

猪股 末男、中山 順一郎、奥木 博勝、
 高野 範城、戸田 昭寿
 欠席者 城倉 正博

◆親睦委員会

★★★★★★★★★★

ニコニコ BOX

委員長 吉尾 警太郎

★★★★★★★★★★

吉尾警太郎 往復路共寒冷前線上飛行、中華航空
 の運転手も仲々のもの、チャッー

小林 和夫 先日タンジョウ日ワイワッテイタダ
 キマシタノデ

吉沢 洋景 梅雨の晴れ間。今日はさわやかです
 ね。国際大会に出席の皆様、御無事
 でおかえりなさい。

横倉 舜三 台北の国際大会に出席して全員無事
 帰国しましたので

伊藤 英也 良い天気です

大熊 将夫 R.C.参加の皆さん、ご苦労様で
 した。

伊神 稔 国際大会、皆様ご苦労様でした。

藤本 吉文 国際大会に出席なされた皆様、御苦
 労様でした。

森田 舞子 台湾より無事ご帰国おめでとござ
 います。

杉田 誠 台湾国際大会に出席の皆様お帰りな
 さい。お陰様で25億円支払わないで
 済みます。

遠藤 二郎 国際大会参加、無事帰国(飛行機が落
 ちなかったので杉田保険事務所から
 返還金有りとウワサ全額ニコニコ
 します。

海野 栄一 台湾旅行お疲れさまでした。…重いゴ
 ルフクラブをかついで行った“かい”が
 ありました。

須藤 起雄 国際大会参加無事に帰って来まし
 た。

萩生田茂夫 先日の国際大会には御同行の皆様
 に大変御世話になりました。

宮本 誠 国際大会お疲れ様でした。赤尾さん
 大変お世話になりました。

田中 實 国際大会で皆さん御世話になりまし
 た。

北村 幸彦 台北国際大会では大変お世話にな
 りました。おかげさまで楽しい旅行が
 出来ました。

大松 誠二 先週、高幡不動で飛火野ロータリー
 のメイキャップしました。あじさい
 がみごとでした。

伊東 巖 本日無事53才になりました。握手を
 いただきましたので

小城 章員 父の葬儀に際してはお心遣いありが
 とうございました。

合計 43,500円

◆ロータリー豆知識

ロータリー情報委員 田中 實

- 1) 宝くじなどに類するもので、ロータリーの資金
 の調達をしては好ましくない。ただし、そうい
 うお国柄というか、国民性の支持されているよ
 うなところではこの限りでないということです。
 つまりロータリークラブの品位が落ちない
 ようやりなさいということだと思います。
- 2) クラブ資金の取扱は実務的处理について、支払
 小切手に対する副署と、毎年度の会計監査が求
 められているというんですが、小切手以外のこ
 とは当クラブでは厳守してやっています。

◆オーチャードにおけるチャリティー コンサートの決算報告について

ロータリー情報委員 田中 實

本日(15日)地区の世社奉から報告が入りました。収入は、17,856,694円で、支出となりました諸費用を除きまして、結局4,856,549円が他に支援金として使われるように残りました。すでに配分を終りましたのは、ボンベイの病院に635,200円クロアチア共和国へ100万円、難聴者救済については、地区では300万円の予算を組んでいます。このうち145万円を支出する予定です。なお、国際緊急災害の医療その他についての援助の資金として1,771,349円をプールしてあります。次年度に申送りになります。

地区協議会報告

(紙面の都合上2週に渡り掲載します)

会長エレクト 宮本 誠

去る5月25日、新宿京王プラザホテルで行われた「地区協議会」について、出席者9名の報告をいたします。

「地区協議会」というのは、次年度のために開かれるものです。地区内各クラブの次期主要メンバーを集めて、次年度RIの方針、ガバナーの方針、地区の方針等について説明し、協議して、クラブ内に浸透させて、次年度各クラブの活動を刺激活性化させるのが目的です。開催手順は、まず世界中のガバナーノミニ、つまり次期ガバナーを集めて「国際協議会」が開かれます。次にその1ヶ月以内に、各地区で「会長エレクト研修セミナー」が開かれます。各クラブの次期会長に「国際協議会」を踏まえて、ガバナーノミニが次期の方針について説明し、会長エレクトをその気にさせます。当地区では4月25日に行われました。次にこの「地区協議会」が開かれます。この「地区協議会」は「国際大会」に出席できない次期に開いてはいけないことになっています。つまり、この

「地区協議会」でのRI次期方針等についての情報を、できれば「国際大会」にも出席して実地の雰囲気等を確かめ経験しなさいということだと思います。次には各クラブ内では、「クラブ協議会」その他を開き「地区協議会」の報告をして、クラブ全員に次年度RI方針、地区方針を浸透させるという順序になっています。「地区協議会」の出席者は、まず会長エレクトは正式に会長になる資格を得るために「クラブ定款」で出席を義務づけています。次期幹事も出席をクラブに誓約しなければならぬことになっています。他ではガバナーの指名する役職の者が出席することになっていますが、今年は、クラブ奉仕委員長、職業奉仕委員長、社会奉仕委員長、国際奉仕委員長、ロータリー財団委員長、米山奨学事業委員長、青少年奉仕委員長が出席しました。

それではまず本会議と会長部会について報告します。本会議は点鐘、型どおりの諸紹介、挨拶等の後、矢野洋四郎次期ガバナーから「国際協議会」の報告及び次期ガバナーの方針について報告説明がありました。「国際協議会」は、去る3月10日から17日まで、500人余りのガバナーノミニを集めて、本会議11回、分科会20回という大変な会議をやったそうです。次年度RI会長ビル・ハントレーのテーマは“BE A FRIEND”「友達になろう」です。「まさかの時」「いざという時」に役に立つ人「友達」になろう、ロータリーだけでなく、「地元や職場で友達になろう」「地域の人々と友達になろう」「遠く離れた人と友達になろう」ということだそうです。そして具体的には「社会への思いやり」ということを掲げ、「社会への思いやりに対するRI会長賞」という賞を設定されたということです。次に、矢野洋四郎次期ガバナーの方針は「友達になろう(BE A FRIEND)、そして、奉仕の輪を深めよう」です。

具体的に重点項目として、

1. RI会長及びガバナーのテーマを推進する。そのためには「評価できる、達成可能な高い目標を立てて実行にあたること」となっています。それは

- * 来年度に客観的に評価できる具体的目標をたてて行動すること

- * いたずらに高い目標をたててもいけないが、さりとて低い目標をたてて事足りりでも情けない

- * やりがいのある目標であること

- * 皆で参加する目標であることとの指示でした。

2. クラブ会員にもう一度「ロータリーの綱領」をしっかり理解させること。

3. 「社会への思いやりに対するRI会長賞」への挑戦をしなさい、ということで、来年4月1日までに達成した活動を対象としてRI会長賞を出そうというものです。

4. G.S.E(研究グループ交換)と韓国との青少年交換の二つのプログラムを成功させる。G.S.Eというのは、国際青少年交換やロータリー財団留学生等と違って、既に社会人である大人のグループ交換です。当地区では初めてのプログラムで、ボストンの地区と交換するということです。韓国との青少年交換についてはよく実体がわかりませんが、インターアクト・ローターアクトを関連させてやるようです。

5. 会員増強は、地区として拡大2クラブを含めて、純増10%が目標である。よくガバナーが数の問題、質の問題といわれるが質の問題については、入会させてから良いロータリアンとして育てるという視点も必要との意見を申されました。女性会員ということでは、充分増強の可能性は高いということです。

6. 出席率は90%確保を目標とする。

7. ロータリー財団寄附及び米山奨学事業寄附についての目標。

8. RI会長テーマソング“BE A FRIEND”を事につけて歌ってほしい、ということです。

次に会長分科会報告をいたします。

1. 地区予算案の承認をしました。年会費は前年度と同様、各クラブ毎に12,000円×会員数の額を、又、今までなかったものとしてG.S.E補助として、各クラブ毎に1,000円×会員数の額を拠出します。

2. 次期地区方針等の説明の後、各分区毎に分れ、

- * 各クラブ次期会長の方針

- * クラブ運営についての問題点

- * 「意義ある業績賞」「ガバナー賞」「社会への思いやりに対するRI会長賞」についてのクラブとしての目標

- * 新クラブ拡大の計画の有無

- * 会員増強及び退会防止策について

の各項目についてクラブ毎に方針や意見の発表を行いました。当クラブとしては

- (ア) 次期会長としてのテーマは“BE A FRIEND TO TAMA”「新しい多摩を応援しよう」と発表しました。各委員会の活動方針の中に次第に具体的に表れてくるとは思います。が、「我々の多摩」の発展のために何か具体的な行動をしようということです。そのために次期から、社会奉仕委員会の中に「地域発展委員会」を新設しました。

- (イ) クラブ運営の問題点としては、特にはありませんが、(1)金がないこと、(2)身近なことからとりあえずやってみるという行動力が少々不足気味であるということとを私の認識として発表しました。

- (ウ) 「ガバナー賞」等に対するクラブの取組みについては、特に意識せず、活動した

結果、受賞できれば幸運である旨述べました。

(エ) 新クラブ拡大計画は無しとしました。

(オ) 会員増強及び退会防止策については、前者については純増10%を目標とし、後者については、(1)新入会員セミナーとか、(2)アドバイザリーシステムとか、(3)入会後はなるべく早い時期に順に副委員長、委員長等を経験してもらったり、(4)入会順等による分け隔てのない会員名簿にするとか、等を報告しました。

私の報告は以上ですが、次回ロータリー財団委員長の中山(順)さんがお休みですので、変って説明しますと、ロータリー財団の来年度の寄附目標やら、それから財団にいろいろ寄附をしておきますと、RI財団から返って来るお金がありまして、これの使い方の話、それからG.S.E.の目的とか、いろいろなことについて協力要請などがあつたと思います。それから青少年部会について猪股さんがお休みですから補足しておきますと、テーマは「今の時点で、何がロータリー青少年奉仕活動として必要か」というようなことについて、いろいろな議論があつたということと、地区としては、インターアクト・ローターアクトの提唱クラブを経験しようということについて、積極的に展開しようとしておるようでした。提唱クラブの現況と問題点といったようなことについて、当クラブは活動してませんので少し追究を受けたかもしれません。

(次週は、幹事、各委員長の報告を掲載します)

卓 話 (6/8)

「ロータリアンとの出会い」

田中 實 会員

人と人の出会いは歴史を生みます。私も沢山の人達に出会い、少なからずその方々の影響を受けて歩んできました。それは今でも同じで集团的交流、あるいは、個々の交流



とお互いに影響を与えながら、それぞれ自己の歴史を書き加えて行くのでしょうか。

今回、プログラム委員長の奥木さんから初代会長の体験感想など話すようにと依頼されました。突然のことで話題を整理する余裕もなく思い付くままに、印象に残った事を飛び飛びの話で、隙間は皆さんの記憶で補っていただき話を進めます。前もってお願いですが寄る年波での記憶違いはお許し下さい。

ロータリアンとの出会いの始まりは、現会長の横倉舜三さんから突然電話で面会を求められ「ロータリーの友」を持参して来社された、彼は特段の説明をする訳でもなく、何となくロータリー会員の勧誘を受けました。返事は保留して雑談で過ごし、その後、2回程お会いした後に、無知な話ですが、2、3ヶ月試しに入会してみると電話で返事をしたのが私のロータリーの始まりでした。

その後、多摩ロータリークラブの由井さん、篠塚さん、石坂さん、久嶋さん、渡部さん、高取さん外数人の方とサンピア多摩の会議室などで会合を繰り返すうちに会員候補者は次第に増え、7月20日の仮例会でクラブの名称は風間さんが提案のグリーンを使う、例会日は話し合いで水曜日にする、例会場は多摩そごうのバンケットルームと決まり。役員

理事の選出は指名委員会を編成して行う事になり、前記のスポンサークラブの新クラブ拡大の役職の皆さんと、そして何となく流れの中で世話人代表になった私、同じく補佐役には松原さん、風間さん、横倉常さん、小島さんが指名委員会の委員と決まりました。これらの議事は由井特別代表の座長で滑らかに流れ決められて行くのには感嘆しました。

同じ由井特別代表の話で感銘を受けた言葉があります。確か第2回仮例会だったと思いますが、生まれ出る意志を持つ活動体と産みの親との関係を簡潔に言い表す「啐啄」という言葉の解説をされました。それ以後に御入会の方もいられるので、振り返りご紹介します。「啐啄」(ソツタク)この言葉は、ソツは口へんに卒業の卒、タクは啄木の啄で言葉の意味は、卵から雛が孵る時に雛自身が卵の殻を、嘴で中から割って世の中に出ようとする努力が(ソツ)で、外から親鶏が嘴で殻を割って助ける此れが(タク)で多摩クラブと多摩グリーンクラブの間柄を示す大変含蓄の有る言葉だとおもいます。

それからの日々は、みんなが創立総会を目指してロータリーの知識の詰め込みですが、此れも親クラブの皆さんに手取り足取りでお教え頂きました。私などは、言われた事、決められた事を無我夢中で追い掛けているうちに9月5日の当日になりました。あんなに気を揉んで心配した当日の記憶は、舞台から見た参加者が前の方に座っていられたが、やけに少ないなと思っただけで、後ははっきり覚えていません。多分緊張と興奮で頭がいっぱいになっていたのだと思います。

しかし、初年度はいろいろな事が一度に押し寄せた訳ですから、大きな感動、強烈な記憶が残ってるはずですが、さて記憶を探ると

さしたる事は思い浮びません、思い出すままにお話すると、第6回の仮例会で由井特別代表より点鐘の木槌を引き継ぐことになっていたの、どの程度の強さで鐘を叩けば良いのか気になってしかたがなかったのは覚えていますが、どのように叩いたか思い出せません。

10月31日「友情と熱意を育てよう」をテーマに仮例会から脱皮し由井特別代表より胸に付けて戴いた会長バッジは、どうも気になって誇らしいのを通り越し気恥ずかしく翌日から通常のバッジを愛用しています。

つまり、初年度は、初体験が多く珍しさと驚きで逆につまらない事が記憶に残ったのかもしれません。

しかし、何と言ってもチャーターナイトは最大の事業で、これの企画から開催終了までの一連の動きは、会員相互にお互いの気質やら、性格やら、行動力などを一挙に知りあう事が出来、成功させる為の協力と熱意、そして共に流した汗は友情を高めることになり、初年度テーマに沿う事が出来ました。

従って個人、或はグループとして、それぞれが異なる、或は同一の体験と思い出が沢山有ると思います。私の分をお話して皆さん緒思い出の糸口とします。

チャーターナイト登録状況

会員 -----1090 名
ご夫人 ----- 319 名
ご同伴 -----1770 名
RC ----- 120 クラブ

東京多摩グリーンロータリークラブ



会長：横倉 研三 副委員長：森田 舞子
幹事：北村 幸彦 委員：海野 米一・奥木 博勝・吉沢 洋景
会報委員長：小島 周二郎 小坂 一郎・佐伯 和廣

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F

TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30